

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	1
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	安心のまちづくり
第2節	防災・減災対策の強化

点検評価項目	4 地域防災力の強化・向上					
	(3) 自助・共助・公助による市民防災力の向上					
	① 自主防災組織等の育成・支援					
	自主防災組織の活動は、市民の防災意識と地域防災力の向上に大きな役割を果たすことから、出前講座の実施や地域自主防災リーダー研修の開催、消防団との連携等を通じ、自主防災組織の設立と育成を積極的に支援します。					
	数値目標	自主防災組織率(世帯単位)(累計)				
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
	目標値	69.0% (基準値)	70.0%	75.0%	80.0%	90.0%
	実績値		69.4%	73.0%		
	数値目標に係る特記事項	令和2年度において5組織が新たに結成				
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和2年度取組・進捗状況					
	<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 消防本部と連携し、結成に向けた働きかけを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・未結成の自治(連合)会に結成促進の文書発送(令和2年度 81組織) ・その後、個別に説明会を実施 ⇒ 7組織 (内容) <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の重要性・活動内容について 結成に関する届出書類、規約の作成等について 自主防災訓練の実施について <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 令和2年度 5組織が新たに結成 <p>(R3年3月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災会 10組織(自治連合会単位) 自主防災部 155組織(自治会単位) 					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
<p>消防本部と連携した結成に向けた働きかけを継続。 災害から地域を守るには、地域の方々が協力して、防災活動に取り組む「自主防災組織」の活動が大きな役割を果たすことを知ってもらえるよう、地域に入り、粘り強く、話し合い、設立に向けて取り組んでいく。</p>						

担当課	危機管理・防災課、消防本部消防総務課、消防本部予防課
-----	----------------------------

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	2
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	安心のまちづくり
第2節	防災・減災対策の強化

点検評価項目	4 地域防災力の強化・向上					
	(3) 自助・共助・公助による市民防災力の向上					
	②地域防災力の向上					
	自主防災組織等による「防災マップ(※)」、「タイムライン(※)」、「地区防災計画(※)」づくりの支援に努めるなど、地域防災力の向上に努めます。 ※防災マップ…住民が話し合い、まち歩きして、地域の危険箇所や避難所までの避難ルート等を書き込んだマップのこと。 ※タイムライン…災害時に「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で決めておく防災行動計画のこと。 ※地区防災計画…住民による自主的な防災活動計画のこと。必要があると認める地区防災計画は、市の地域防災計画に定めず。					
	数値目標	地区防災計画の策定件数(累計)				
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
	目標値	0件 (基準値)	5件	10件	15件	20件
	実績値		1件	1件		
	数値目標に係る特記事項	令和2年度は地区防災計画の策定に至った自主防災組織はなし				
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和2年度取組・進捗状況					
	【取組】 > 京都府のモデル事業を活用して「タイムライン」を作成した京口自治会を模範として、呼びかけを実施(令和2年度 3組織) > 「タイムライン」様式を市街地洪水ハザードマップに掲載 【進捗状況】 > 「タイムライン」作成について説明会実施 出前講座 26回(令和2年度) > 市街地洪水ハザードマップを作成(東・西各5,000部)					
	取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
	まずは、取り組み内容がイメージしやすい「タイムライン」の作成を進め、その活動結果をとりまとめる等により、「地区防災計画づくり」に繋げる。					

担当課	危機管理・防災課、消防本部警防課
-----	------------------

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	3
-----	---

第2編	市政運営の基本姿勢
第1節	市民と共に進めるまちづくり

点検評価項目	2 戦略的な広報の推進と公聴機能の充実					
	(1)舞鶴市ブランディング戦略					
	①市民や企業、関係部署などと連携し、戦略的にまちのブランディングを実施					
	ロゴやキャッチコピーを定め、市のカラーを統一します。また、他自治体との差別化を行い、まちのブランディングを推進します。					
	数値目標	-				
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
	目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和2年度取組・進捗状況					
	<p>市民(11人)と若手職員(4人)からなるブランディングプロジェクトチームを9月18日に発足。舞鶴市シティブランディングプロジェクト会議の全6回の開催と市民アンケート調査を実施。</p> <p>◆シティブランディングプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議(9月18日)…第1部:プロジェクトアドバイザーで関西大学総合情報学部教授の徳山美津恵さんによる講演「プライスレス・ブランディングから地方創生を考える」、第2部:徳山教授とプロジェクト委員のメンバーとの意見交換 ・第2回会議(10月20日)…アンケート調査に向けた協議 ・第3回会議(11月13日)…アンケート調査の実施に向けた協議と11月28日の「らぼーる」でのキックオフイベントに向けた協議 ・第4回会議(12月16日)…第1部:ガイアシステム(株)とのワークショップ、第2部:市民アンケート調査の進捗状況などについて ・第5回(2月15日)…舞鶴市の施策について、担当部署からのプレゼンテーションと意見交換等((SDGs)若者チャレンジ・エネルギー・防災・赤れんが周辺まちづくり) ・第6回(3月17日)キャッチコピー、ロゴマーク作成についての協議等 <p>◆市民アンケート調査(11月28日～12月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的…市内外の皆さんの舞鶴に対するイメージや魅力の洗い出しを行う ・対象…①住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の20歳以上2,000人②市内3高校に通う生徒③市内外の有志 ・調査項目…全21項目 ・回答総数…3,318件 ・有効回答数…(一般)1,999件、(高校生)1,304件 ・その他…調査初日の11月28日に、らぼーるでキックオフイベントとして該当調査を実施し、約400人から回答。 <p>コロナの影響で会議の開催の延期を余儀なくされるなど、当初のスケジュール通りに進められず、多少の遅れが見られるが、概ね順調に進んでいる。</p>					
	取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
	市民アンケートの結果を基に、市のキャッチコピー、ロゴマークを作成する。なお、キャッチコピーは令和3年6月30日に「ヅルいい!舞鶴」に決定。ロゴマークは令和3年7月8日～8月31日までの期間募集し88件の応募があった。最終的に市民投票で、ロゴマークを決定し、キャッチコピーと合わせ市民や事業所への周知、利用促進に努める。					

担当課	広報広聴課
-----	-------

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	4
-----	---

第2編	市政運営の基本姿勢
第1節	市民と共に進めるまちづくり

点検評価項目	2 戦略的な広報の推進と公聴機能の充実					
	(1) 計画的かつ効果的な情報発信					
	① さまざまな発信ツールでの情報発信					
	<p>さまざまなツール(広報紙、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、まいづるメール配信サービス、FM放送等)を活用し、市内外へそれぞれの強みを最大限に活かした情報発信に努めます。さらに広報・マーケティング業界からの専門家の任用を検討するとともに高等教育機関や大学などとの連携を推進します。</p>					
	数値目標	メール配信サービス登録者数				
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
	目標値	13,200人 (基準値)	14,000人	14,800人	15,600人	16,400人
	実績値		13,852人	15,541人		
	数値目標に係る特記事項	令和2年度の登録者の急増は、新型コロナウイルス感染症によるものと考えられる。				
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和2年度取組・進捗状況						
<p>・さまざまなツールで情報配信を行い、市民の得られる情報の質、利便性向上に努めた。中でも、メールをほとんど使うことがないという若い人の声を受け、5月20日から市公式LINEの運用を開始。また、コロナ交付金を活用しホームページのリニューアルを行い、災害時のアクセスの集中に耐えられるよう、防災・災害情報を集約した軽量サイトやシティブランディングに合わせたシティプロモーション特設サイトを新設し、スマートフォンでも見やすいデザインに変更。ホームページと、Jアラートの緊急情報やメール配信サービスと連携させ、災害時などに情報を素早く市民にお知らせする機能の充実を図った(新ホームページは令和3年4月12日8時から稼働)。</p> <p>・定型の質問などに自動応答させることで、職員による質の高い市民サービスの提供に繋げる「AIチャットボット」の導入。</p> <p>・広報広聴課への市内の情報一元化を進めるために広報体制を見直し、情報を確実にメディア露出へつなげるためのプレスリリースを手法として確立するため、(株)天空PRとシティブランディング戦略事業支援業務委託契約を締結。広報紙改革会議など広報広聴機能全般に係る業務に、アドバイスや指導を仰いでいる。</p> <p>・舞鶴市シティブランディングプロジェクトの開催にあたり、専門家からの助言・指導をいただくため、関西大学総合情報学部教授の徳山美津恵氏を舞鶴市シティブランディング戦略プロジェクト委員に招致し、高等教育機関との連携を図った。</p>						
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
<p>広報紙などを読まない若い世代への情報発信は課題の1つであるが、ブランディングメンバーの高校教諭等とも連携して、若い世代へのアプローチを検討する。</p> <p>市内3高校及び高専と連携し、広報まいづるの企画・内容について学生の意見を聞く機会や、学生の広報紙への出演機会を増やすことで、市政への興味に繋げる。</p>						

担当課	広報広聴課
-----	-------

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	5
-----	---

第2編	市政運営の基本姿勢
第1節	市民と共に進めるまちづくり

点検評価項目	2 戦略的な広報の推進と公聴機能の充実					
	(1) 計画的かつ効果的な情報発信					
	②ビッグデータを活用した効果的な情報発信					
	ビッグデータやアプリなどを活用することで、ターゲットや世相に応じた情報提供を行います。					
	数値目標	-				
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
	目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和2年度取組・進捗状況						
<p>・全国の広報紙を閲覧できる「マチイロ(アプリ)」(※)を活用。</p> <p>・市民からの質問に24時間対応できる「AIチャットボット」を令和2年10月から本格導入。市役所へ電話や訪問することなく、必要な情報を的確に、都合の良いタイミングで得られるようになり利便性向上にも繋がった。</p> <p>AIチャットボットの導入で、どのような質問が多いのか、利用時間帯などが数字として把握でき、運用実績は毎月全庁に共有し、市民ニーズの把握やAIチャットボットの機能拡充に努めている。</p> <p>※広告代理店・株式会社ホープが提供する、在住の地域や全国の自治体に関する情報をいつでも、どこでも閲覧できる、スマートフォンやタブレット端末向けの無料アプリ。基本情報を登録することで、最新号の広報まいづるが発行されると、アプリにお知らせが届き、アプリから閲覧できる。ページめくりや拡大縮小、スクラップ機能などがある。バックナンバーも閲覧可能。</p>						
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
引き続き、AIチャットボットに蓄積される情報を分析し、市民ニーズの把握及び質の高い情報提供ができるよう機能拡充等に努める。 市ホームページやフェイスブックにおけるアクセスや検索キーワードなどを参考にし、今後の情報発信へ活用する。						

担当課	広報広聴課
-----	-------

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	6
-----	---

第2編	市政運営の基本姿勢
第2節	持続可能なまちづくり

点検評価項目	3 ICT(情報通信技術)の活用																							
	(1)行政効率化と市民サービスの向上																							
	①時代に応じた最新技術の活用																							
	AI(人工知能)やRPA(自動化技術)などを業務に活用し、「コンピュータに任せる仕事」を増やし、人は「人にしかできない仕事」に注力することで、生産性の向上と労働力の確保を行い、より質の高いサービス提供に努めます。 クラウドサービスを最大限に活用し経費の削減、業務の標準化と継続性(ICT-BCP)に努めます。																							
	数値目標	-																						
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)																		
	目標値	-	-	-	-	-																		
	実績値	-	-	-	-	-																		
	数値目標に係る特記事項																							
	点検評価項目施策の推進に係る説明																							
	令和2年度取組・進捗状況																							
	1)RPA適用 ・令和元年度にRPAを適用した、税、子育て、教育の運用及び改善 ・「特別定額給付金」、「ログ収集」業務への新規適用 2)AI-OCRの活用 ・税、子育て、教育、特別定額給付金業務での活用 RPA、AI-OCRにおいて、下表のとおり一定の効果(作業時間短縮)を得た。																							
	【令和2年度 新規適用、改善業務作業時間実績】																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業 務</th> <th>導入前</th> <th>導入後</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別定額給付金業務</td> <td>10,201分</td> <td>2,550分</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>公共施設予約件数集計業務</td> <td>1,200分</td> <td>120分</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放課後児童クラブ利用申請受付業務</td> <td>4,000分</td> <td>3,600分</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">昨年度削減率</td> <td>-11.0%</td> </tr> </tbody> </table>					業 務	導入前	導入後	削減率	特別定額給付金業務	10,201分	2,550分	75.0%	公共施設予約件数集計業務	1,200分	120分	90.0%	放課後児童クラブ利用申請受付業務	4,000分	3,600分	10.0%	昨年度削減率		-11.0%
	業 務	導入前	導入後	削減率																				
特別定額給付金業務	10,201分	2,550分	75.0%																					
公共施設予約件数集計業務	1,200分	120分	90.0%																					
放課後児童クラブ利用申請受付業務	4,000分	3,600分	10.0%																					
	昨年度削減率		-11.0%																					
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について																								
AI-OCRやRPAを活用し、上記以外にも処理時間の短縮や質の向上が期待できる業務がないかの洗い出しを行う。																								

担当課	デジタル推進課
-----	---------

【総務消防委員会】第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	7
-----	---

第2編	市政運営の基本姿勢
第2節	持続可能なまちづくり

点検評価項目	3 ICT(情報通信技術)の活用					
	(1)行政効率化と市民サービスの向上					
	②行政手続きの利便性向上と業務の効率化					
	マイナンバーカードや電子申請システムの利活用により、行政手続きの利便性向上を図るとともに、国による行政手続オンライン化に向けた法整備等の動向に沿って、さらなる市民サービス向上と業務の効率化を図ります。					
	数値目標	-				
	年度	2017年	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
	目標値	-	-	-	-	-
	実績値	-	-	-	-	-
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和2年度取組・進捗状況						
1)マイナンバーカード利活用						
①特別定額給付金のオンライン申請 新型コロナウイルス感染症による緊急経済対策として実施された特別定額給付金事業についてマイナンバーカードを活用しオンラインによる申請の受付を実施。						
【特別定額給付金オンライン申請実績】 1,389件(2億9,440万円)						
②コンビニ交付 令和2年11月より住民票など各種証明書を全国のコンビニエンスストアで取得可能とする、コンビニ交付の運用を開始。						
【コンビニ交付運用実績 R2.11/26~R3.3/31】 1,003件(1,150枚)						
2)行政手続きのオンライン化 条例等の規定により、書面等で申請等を行うとされた手続きについて、個別に例規を改正することなくオンラインにより申請を可能とする「舞鶴市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例及び同条例施行規則の骨子案」を作成。						
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
「舞鶴市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」について、令和3年9月定例会において同条例(案)の上程を行った。行政手続きのオンライン化については、同条例施行後、既存の電子申請システムを活用し、市民ニーズの高い行政手続きについてオンライン化の促進・拡充を図る。合わせて、健康保険証利用等の国のカード利活用策について、引続き利用登録の支援や制度周知を行う。						

担当課	デジタル推進課、総務課
-----	-------------